



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 中越パルプ工業株式会社
コード番号 3877 URL <http://www.chuetsu-pulp.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 原田 正文
問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 荒屋 英治

TEL 0766-26-2404

四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	23,588	6.4	223	△44.9	298	△29.5	13	△91.6
25年3月期第1四半期	22,179	△9.2	406	930.5	423	—	160	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 14百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △136百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	0.12	—
25年3月期第1四半期	1.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	131,620	49,678	37.7	426.21
25年3月期	130,696	49,781	38.1	427.08

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 49,678百万円 25年3月期 49,781百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	3.00	—	1.00	4.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年3月期の配当につきましては、業績予想が困難であるため未定としております。今後、予想が可能になった段階で速やかに発表いたします。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	48,000	7.7	800	300.1	700	479.7	—	—	—
通期	98,000	8.3	1,700	557.7	1,500	294.4	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、中長期成長戦略プラン『ネクストステージ50』による事業構造改革にかかる特別損失の発生見込額が合理的に見積もることができないことから、当期純利益金額については未定としております。今後、予想が可能になった段階で速やかに発表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	116,654,883 株	25年3月期	116,654,883 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	95,568 株	25年3月期	94,243 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	116,560,331 株	25年3月期1Q	116,465,302 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいた見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、今後様々な要因の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する情報	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期累計期間におけるわが国経済は、新興国の経済の減速、欧州危機を中心とする海外経済の動向などの影響が懸念されたものの、新政権による金融緩和等の経済政策への期待から円安・株高が進行し、輸出産業を中心とした企業収益の向上や一部の個人消費に回復傾向が見られました。その反面、円安による輸入価格の上昇等の国内景気の押し下げの懸念があるなど、不安定な状態が続いております。

紙パルプ業界におきましては、円安による輸入紙の減少や製品価格の改定、また原燃料価格の上昇など取り巻く経営環境は不透明な状況であります。

このような状況下、当社グループでは中長期成長戦略プラン「ネクストステージ 5 0」を策定し、生産品種の構造転換、包装用紙・製袋事業の強化、発電事業への参入、コスト削減の取組み等を継続中であります。当第 1 四半期累計期間に事業構造改革に係る特別退職金の一部を計上したことで、連結四半期純利益金額は大幅に減少しました。

以上の結果、当第 1 四半期連結累計期間の業績は下記のとおりとなりました。

連結売上高	23,588 百万円	(前年同四半期比 6.4%増)
連結営業利益	223 百万円	(前年同四半期比 44.9%減)
連結経常利益	298 百万円	(前年同四半期比 29.5%減)
連結四半期純利益	13 百万円	(前年同四半期比 91.6%減)

(紙・パルプ製造事業)

◎ 新聞用紙

新聞用紙の販売は、新聞の電子化等により発行部数は減少し、数量・金額とも前年同四半期を下回りました。

◎ 印刷用紙

印刷情報用紙の販売につきましては、国内景気の一部回復、輸入紙の減少等に伴う国内紙への振替により、チラシ・カタログ等の商業印刷向け塗工紙等を中心に、数量・金額とも前年同四半期を上回りました。

◎ 包装用紙

包装用紙の販売につきましては、地道な販売努力を重ね、数量・金額とも前年同四半期を上回りました。

◎ 特殊紙・板紙及び加工品等

壁紙などの特殊紙分野では新規需要先の開拓、拡販に努めましたが、数量・金額ともに横ばいにて推移しました。

しかしながら、カップ用原紙・板紙は拡販に努めたことにより、数量・金額ともに前年同四半期を上回りました。

これらにより、当事業の業績は下記のとおりとなりました。

連結売上高	20,330 百万円	(前年同四半期比 5.7%増)
連結営業損失	38 百万円	(前年同四半期は 376 百万円の連結営業利益)

(紙加工品製造事業)

紙加工品製造事業は国内景気の一部回復により、需要が堅調に推移したことに加え、事業構造改善によるコスト削減に努めたことにより増益となりました。

これらにより、当事業の業績は下記のとおりとなりました。

連結売上高	3,089 百万円	(前年同四半期比 3.4%増)
連結営業利益	65 百万円	(前年同四半期比 151.0%増)

(発電事業)

平成 25 年 4 月 12 日付けの「発電事業に関するお知らせ」にて発表しておりますとおり、当社は再生可能エネルギー固定買取制度を利用した発電事業を目的とするバイオマス発電設備および太陽光発電設備の設置を決定しております。当該発電事業を紙・パルプ製造事業、紙加工品製造事業と並ぶ新たな事業の柱として位置づけ、当第 1 四半期連結会計期間より「発電事業」を新たに報告セグメントに追加しております。

発電事業の業績は下記のとおりであります。

連結売上高	259 百万円
連結営業利益	50 百万円

(その他)

運送事業、建設事業につきましては紙の売上増加に伴う製品輸送の増加、外注工事の受注増加の影響により増益となりました。

これらにより、当事業の業績は下記のとおりとなりました。

連結売上高	4,510 百万円	(前年同四半期比 10.1%増)
連結営業利益	102 百万円	(前年同四半期は 37 百万円の連結営業損失)

(2)連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

現金及び預金が 1,418 百万円増加したことなどにより、流動資産は前連結会計年度末に比べて 3.6%増加し、52,301 百万円となりました。また、有形固定資産が 1,056 百万円減少したことなどにより、固定資産は 1.1%減少し、79,319 百万円となりました。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて 0.7%増加し、131,620 百万円となりました。

(負債)

支払手形及び買掛金が 418 百万円減少したことなどにより流動負債は前連結会計年度末に比べて 1.0%減少し、56,367 百万円となりました。また、長期借入金が 1,612 百万円増加したことなどにより固定負債は 6.6%増加し、25,574 百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて 1.3%増加し、81,941 百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて 0.2%減少し、49,678 百万円となりました。これは剰余金の配当 116 百万円、四半期純利益 13 百万円などにより利益剰余金が 103 百万円減少したことなどによりです。また自己資本比率は、前連結会計年度末と比べて 0.4 ポイント減少し、37.7%となりました。

(3)連結業績予想に関する定性的情報

平成 26 年 3 月期の業績予想につきましては、中長期成長戦略プラン「ネクストステージ 50」による事業構造改革に伴う特別損失の発生見込額を合理的に見積もることができないことから、平成 25 年 5 月 14 日に公表しました「平成 25 年 3 月期 決算短信」における業績予想から見直しは行っておりません。

今後、合理的な見積りが可能となった段階で速やかに発表いたします。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,698	12,116
受取手形及び売掛金	25,020	25,365
商品及び製品	6,834	5,989
仕掛品	769	634
原材料及び貯蔵品	5,672	6,015
その他	1,497	2,197
貸倒引当金	△13	△16
流動資産合計	50,479	52,301
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	50,228	50,613
減価償却累計額	△29,404	△29,710
建物及び構築物（純額）	20,824	20,903
機械装置及び運搬具	238,884	238,161
減価償却累計額	△196,937	△197,361
機械装置及び運搬具（純額）	41,947	40,799
その他	12,675	12,703
減価償却累計額	△2,584	△2,600
その他（純額）	10,091	10,103
有形固定資産合計	72,862	71,805
無形固定資産		
その他	316	338
無形固定資産合計	316	338
投資その他の資産		
投資有価証券	5,171	5,237
その他	2,048	2,117
貸倒引当金	△181	△180
投資その他の資産合計	7,038	7,174
固定資産合計	80,217	79,319
資産合計	130,696	131,620

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,859	13,441
短期借入金	34,139	34,196
1年内償還予定の社債	2,000	2,000
未払法人税等	161	42
賞与引当金	425	157
その他	6,328	6,529
流動負債合計	56,914	56,367
固定負債		
社債	4,000	4,000
長期借入金	15,399	17,012
退職給付引当金	4,204	4,175
その他	396	387
固定負債合計	24,000	25,574
負債合計	80,915	81,941
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,259	17,259
資本剰余金	14,651	14,651
利益剰余金	17,401	17,298
自己株式	△21	△21
株主資本合計	49,291	49,188
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	489	506
繰延ヘッジ損益	—	△16
その他の包括利益累計額合計	489	490
少数株主持分	0	—
純資産合計	49,781	49,678
負債純資産合計	130,696	131,620

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	22,179	23,588
売上原価	17,742	19,232
売上総利益	4,436	4,355
販売費及び一般管理費		
販売手数料	1,670	1,731
運搬費	1,250	1,385
保管費	294	255
その他	814	759
販売費及び一般管理費合計	4,030	4,132
営業利益	406	223
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	69	72
負ののれん償却額	9	—
為替差益	—	73
その他	73	57
営業外収益合計	153	204
営業外費用		
支払利息	118	104
その他	17	24
営業外費用合計	135	129
経常利益	423	298
特別損失		
固定資産除却損	175	84
特別退職金	—	246
その他	4	0
特別損失合計	179	332
税金等調整前四半期純利益	244	△33
法人税、住民税及び事業税	15	30
法人税等調整額	67	△78
法人税等合計	82	△47
少数株主損益調整前四半期純利益	161	13
少数株主利益	0	0
四半期純利益	160	13

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	161	13
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△242	17
繰延ヘッジ損益	△55	△16
その他の包括利益合計	△298	1
四半期包括利益	△136	14
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△136	14
少数株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

[セグメント情報]

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	紙・パルプ 製造事業	紙加工品 製造事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,355	2,880	21,236	942	22,179
セグメント間の内部 売上高又は振替高	881	106	988	3,153	4,142
計	19,237	2,987	22,225	4,096	26,321
セグメント利益又は損失(△)	376	26	403	△37	365

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送事業、設備設計施工・修理事業、原材料事業、紙断裁選別包装事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	403
「その他」の区分の利益	△37
セグメント間取引消去	29
固定資産の調整額	12
その他の調整額	△1
四半期連結損益計算書の営業利益	406

Ⅱ 当第 1 四半期連結累計期間（自 平成 25 年 4 月 1 日 至 平成 25 年 6 月 30 日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	紙・パルプ 製造事業	紙加工品 製造事業	発電事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	19,315	2,983	259	22,558	1,029	23,588
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,015	106	—	1,121	3,480	4,602
計	20,330	3,089	259	23,680	4,510	28,190
セグメント利益 又は損失(△)	△38	65	50	77	102	179

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送事業、設備設計施工・修理事業、原材料事業、紙断裁選別包装事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	77
「その他」の区分の利益	102
セグメント間取引消去	25
棚卸資産の調整額	11
その他の調整額	7
四半期連結損益計算書の営業利益	223

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第 2 四半期連結会計期間より、従来「その他」に含まれていた「紙加工品製造事業」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第 1 四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分方法により作成しており、前第 1 四半期連結累計期間の「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

また、「P 2 1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 連結経営成績に関する定性的情報」に記載のとおり、当第 1 四半期連結会計期間より「発電事業」を新たに報告セグメントといたしました。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。